

令和8年2月20日(金)
一般財団法人 医療関連サービス振興会第35回シンポジウム
「今後の災害を見据えた医療と医療関連サービス」

災害時の歯科の使命 ～JDATの課題と展望～

公益社団法人 日本歯科医師会
常務理事 野村 圭介

本日の内容

- (1) これまでの主な災害対応
- (2) JDATの活動内容
- (3) 令和6年能登半島地震を受けての課題・展望

☑本日の内容

(1)これまでの主な災害対応

(2)JDATの活動内容

(3)令和6年能登半島地震を受けての課題・展望

3

過去の災害より（主な災害対応）

発生年月日	災害名	死者・不明者	歯科の活動
平成5（1993）年7月12日	北海道南西沖地震	死者 230、不明29	応急診療
平成7（1995）年1月17日	兵庫県南部地震 （阪神・淡路大震災）	死者 6,434、不明3	応急診療
平成16（2004）年10月23日	新潟県中越地震	死者68、不明0	応急診療、歯科保健活動
平成17（2005）年3月20日	福岡県西方沖地震	死者1、不明0	応急診療、歯科保健活動
平成19（2007）年 3月25日	平成19年（2007年） 能登半島地震	死者1、不明0	応急診療、歯科保健活動
平成19（2007）年7月16日	新潟県中越沖地震	死者15、不明0	応急診療、歯科保健活動
平成20（2008）年6月14日	岩手・宮城内陸地震	死者17、不明6	応急診療、歯科保健活動
平成21（2009）年8月9日 ～8月13日	平成21年台風第9号 （兵庫県佐用町）	死者25、不明2	応急診療、歯科保健活動
平成23（2011）年3月11日	東北地方太平洋沖地震 （東日本大震災）	死者不明者2万人以上	個人識別・応急診療 歯科保健活動
平成28（2016）年4月14日	熊本地震	死者273、不明0 （令和6年3月13日現在）	個人識別・応急診療 歯科保健活動
平成30（2018）年6月28日 ～7月8日	西日本豪雨災害	死者220、不明10 （平成30年7月31日現在）	応急診療、歯科保健活動
平成30年9月6日	平成30年北海道 胆振東部地震	死者0、不明0	応急診療、歯科保健活動
令和6（2024）年1月1日	令和6年能登半島地震	死者698、不明2 （令和7年12月25日現在）	応急診療、歯科保健活動

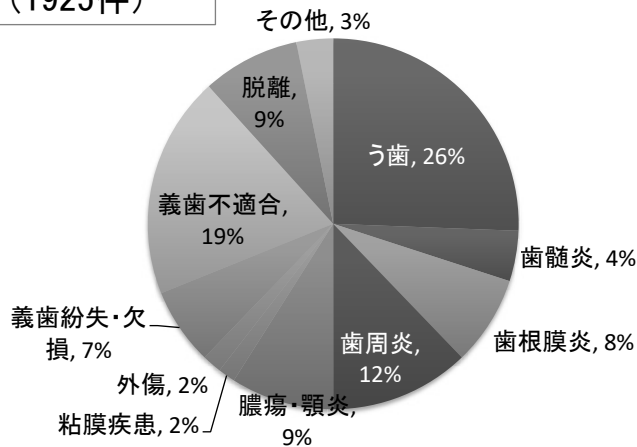
4

阪神・淡路大震災 避難所巡回診療における応急歯科診療

1995 1/21-3/31

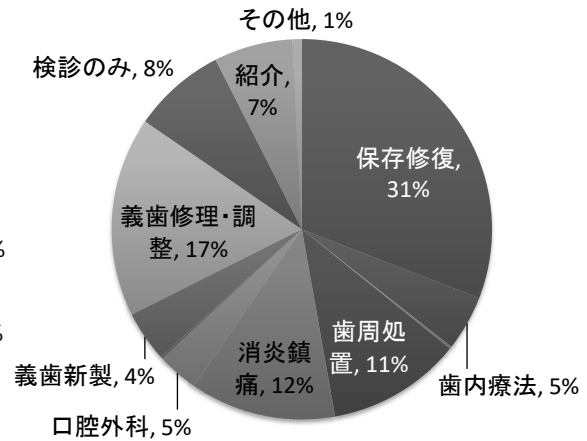
巡回診療における病名分類

総数: 1764人
(1925件)



巡回診療における処置内容

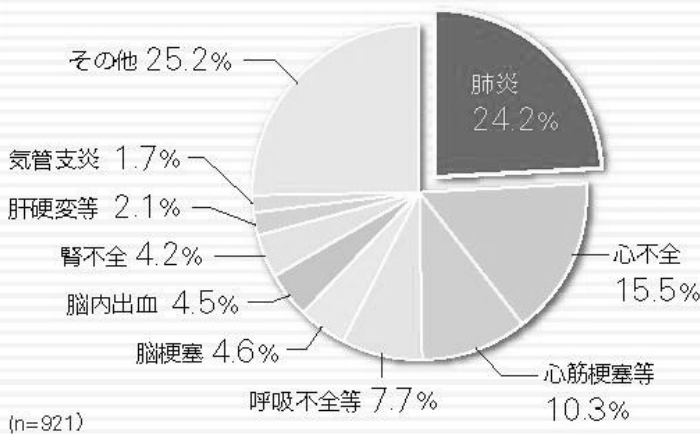
総件数1925件



出典: 阪神・淡路大震災と歯科医療(兵庫県病院歯科医会)P24~26

災害関連疾病について 阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災(95年)における『関連死』の死因別割合



95年の阪神・淡路大震災で、関連死(地震が直接の原因ではない死)のうち最も多かったのは肺炎でした。一般に、肺炎のうち何割かは誤嚥性肺炎と言われます。避難所生活では口腔の衛生状態を保つのが難しいことも一因となって、特に高齢者で肺炎などの呼吸器感染症が増える危険性があります。

資料: 神戸新聞(2004年5月14日付)

東日本大震災における 歯科保健医療支援

2011年7月14日

	岩手県		宮城県		福島県		合計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
歯科医師会派遣	3	18	80	454	10	60	93	532
歯科衛生士会派遣	3	18	46	287	5	30	54	335
大学派遣歯科医師	0	0	70	486	2	12	72	498
大学派遣歯科衛生士	0	0	17	118	1	6	18	124
歯科技工士会派遣	0	0	1	3	0	0	1	3
事務局	0	0	3	11	0	0	3	11
合計	6	36	217	1,359	18	108	241	1,503

7

東日本大震災における震災関連死の死者数(時期別)

復興庁調べ 令和3年3月31日現在

都道府県	時期別						合計
	1週間以内	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	1年超	
岩手県	97	123	121	59	38	32	470
宮城県	234	340	219	82	31	23	929
山形県	0	1	0	0	0	1	2
福島県	116	265	337	326	365	910	2,319
茨城県	19	13	5	4	1	0	42
埼玉県	1	0	0	0	0	0	1
千葉県	2	1	0	1	0	0	4
東京都	1	0	0	0	0	0	1
神奈川県	2	1	0	0	0	0	3
長野県	1	1	1	0	0	0	3
合計	473	745	683	472	435	966	3,774

全体の32%が1か月以内、50%が3か月以内

(3か月以内 岩手県：73%、宮城県：85%、福島県：31%)

8

平成28年熊本地震 被災地(避難所)での活動状況

派遣元	派遣期間	歯科医師	歯科衛生士	その他	計
熊本県歯	4/15～7/31	延409名	延331名	延36名	延776名
九州地区連合 歯科医師会	4/23～5/22	延318名	延243名	延2名	延563名
J M A T	4/22～5/29	延60名	延24名	—	延84名
全国知事会	5/2～5/17	延15名	延15名	—	延30名
日 歯	4/22～6/6	延20名	—	延4名	延24名
計	4/15～7/31	延822名	延613名	延42名	延1,477名

※熊本県歯科医師会による災害救助法に基づく被災者歯科支援は7月末まで
 ※熊本県外からの歯科医療従事者の派遣は5月22日に一旦終了
 ※JMATには鹿児島、兵庫、山口、福島各県の計18チームが参画
 ※全国知事会からの派遣は鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
 ※日歯からの派遣は、役員視察(熊本県歯及び熊本県行政との意見交換)、
 日歯災害歯科コーディネーター計5回の派遣及び事務局支援のための
 岩手県歯科医師会事務局長の派遣

令和6年能登半島地震 JDATの派遣状況 ※ 1/7(日)～4/27(土)

	チーム数	人数	職種の内訳				
			歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	事務職	その他
計	364	1325	806	459	12	45	3

都道府県	チーム数	派遣人数	職種の内訳					都道府県	チーム数	派遣人数	職種の内訳				
			歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	事務職	その他				歯科医師	歯科衛生士	歯科技工士	事務職	その他
北海道	1	3	3					福井県	9	34	8	17		9	
青森県	2	10	2	5	1	1	1	滋賀県	4	16	11	3	1	1	
宮城県	3	11	9	2				和歌山県	1	3	3				
福島県	1	3	2			1		奈良県	3	12	6	5	1		
栃木県	1	3	2			1		京都府	5	17	10	5	2		
群馬県	1	5	2	2		1		大阪府	6	17	13	3	1		
埼玉県	1	4	1	2		1		兵庫県	3	9	7	2			
東京都	2	10	2	4		4		岡山県	1	4	3	1			
神奈川県	1	4	4					広島県	3	12	9			2	1
山梨県	1	2	2					島根県	1	3	3				
長野県	23	79	74	4		1		徳島県	1	3	1	2			
新潟県	1	3	3					香川県	1	3	2	1			
静岡県	6	27	19	7	1			愛媛県	2	7	3	4			
愛知県	14	56	16	25		15		高知県	2	6	4	1	1		
三重県	7	28	19	7	1	1		計	364	1325	806	459	12	45	3
岐阜県	3	12	5	6		1		佐賀県	3	12	6	6			
富山県	9	37	9	18	3	6	1	計	51	180	98	63	6	12	1
石川県	236	848	534	314											

災害時歯科支援



入れ歯がおちてきて
食べにくいの…



1人の心をつかむと次々
声上がる



巡視にも
快く対応



周知 歯科相談

歯科医師による相談が受けられます
JDAT(日本災害歯科支援チーム)が対応します

日時 令和6年3月6日(水)午前(不変)

場所 坂田公民館
対象者 住民の皆さま
申込方法 当日ご参加いただけます。
お気軽にご相談ください。

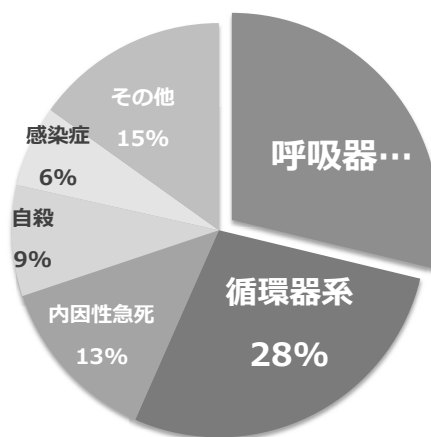
無料

災害関連死について

各災害における関連死者数

阪神淡路大震災	921人	(6,434)
新潟中越地震	52人	(68)
東日本大震災	3794人	(15,900)
熊本地震	221人	(278)
能登半島地震	397人	(625)

地震で命が救われたのに…



熊本地震での災害関連死の内訳

呼吸器疾患は災害関連死の30%

阪神淡路
大震災

33.6%

2004.4.14
神戸新聞

新潟県
中越地震

23.1%

2009.10.21
東京消防庁発表

東日本
大震災

31.3%

2021.3.13 (石巻市)
河北新報、帝京大学

熊本地震

28.4%

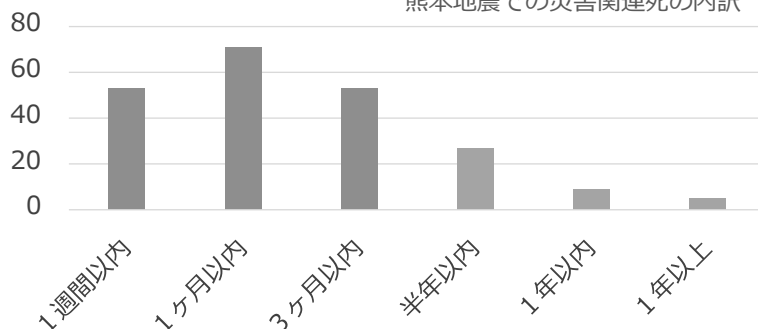
2017年末
熊本県まとめ

災害関連疾病予防を目的とした健康支援が重要である

避難所の歯科保健の重要性、地域保健、2022年7月号、P36より改変

災害関連死の起こる時期

熊本地震での災害関連死の内訳



避難してからしばらくすると疾患等が蔓延する

発災から **3**ヶ月間での対応がとても大事

15

本日の内容

(1) これまでの主な災害対応

(2) JDATの活動内容

(3) 令和6年能登半島地震を受けての課題・展望

16

JDAT (Japan Dental Alliance Team、日本災害歯科支援チーム) の創設について

【目的・趣旨】

災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等

《背景》

災害時の歯科支援としては、1993(平成5)年の北海道南西沖地震より実施されているが、歯科のチームが組織的に派遣されたのは2004(平成16)年の新潟県中越地震以降になり、2011(平成23)年の東日本大震災の折には、全国的な派遣体制が構築された。

しかしながら、避難所等で誰が見ても「歯科チーム」と分かるような状況ではないことから、歯科チームの創設を検討し、2022(令和4)年3月、日本災害歯科保健医療連絡協議会にて創設した。

17

日本災害歯科保健医療連絡協議会

平成27年4月設置

<目的>

大規模震災後の避難所・仮設住宅、被災者等への歯科保健医療の提供は、JMATと帯同する病院歯科医師から中長期の仮設住宅・高齢者施設等への口腔ケアや歯科相談等の提供に至るまで、様々な歯科関係職種の継続的な支援が必要である。

そのため、日本歯科医師会主導の下、歯科関係団体同士の連携や災害対応に関する認識の共通化を図るとともに、各歯科団体独自の行動計画等の情報集約や共有を促し、有事に際して国や都道府県との連携調整を行い、被災地の歯科医療救護や被災者の歯科支援活動を迅速に効率よく行うべく、協議していく。

- 概ね年2回(8月、2月)開催
- 災害歯科保健医療チーム養成支援事業やJDATのあり方等を協議
- 令和4年8月に「災害歯科保健医療連絡協議会」から名称変更
- 協議会規則は日本歯科医師会HP「災害歯科保健医療対策」参照

18

日本災害歯科保健医療連絡協議会〈参画団体〉

- ①日本歯科医師会
 - ②都道府県歯科医師会（全国7地区歯科医師会）
 - ③日本歯科医学会
 - ④日本私立歯科大学協会
 - ⑤国立大学歯学部長・歯学部附属病院長会議
 - ⑥全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議
 - ⑦日本病院歯科口腔外科協議会
 - ⑧日本歯科衛生士会
 - ⑨日本歯科技工士会
 - ⑩全国行政歯科技術職連絡会
 - ⑪日本歯科商工協会
- ※オブザーバー：内閣府、厚生労働省、防衛省、
日本医師会（JMAT関係者）ほか

【JDATの活動内容】



- JDAT（日本災害歯科支援チーム）は、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士などによるチームです。
- 避難所や高齢者施設等において、応急歯科治療や口腔衛生の確保・口腔機能の維持をサポートします。



歯科相談 応急歯科治療

近隣の歯科診療所が再開するまでの間、痛みをとる、食べやすくする、などの応急治療を行います。

- 歯が痛い、口内炎ができた
- 入れ歯が痛い、ゆるい
- 歯の詰め物がとれた



歯科保健活動

歯や口のお困りごとなどを確認し、災害時の生活における工夫の仕方を、おひとりおひとりの状態にあわせてご紹介・ご説明し、必要な歯みがき用品をご提供します。

災害時のお口のケアが、肺炎などのからだの病気を予防することなども、あわせてお伝えします。

- お水が少ない時の歯みがきの工夫
- お口が乾きやすい時のマッサージ方法



【集団】 お口の 健康づくり

皆さんがお集まりの場所で、歯や口からの健康の保ち方をご説明したり、お口の体操をしたりします。

- お口の体操
- 歯や口と健康 講和



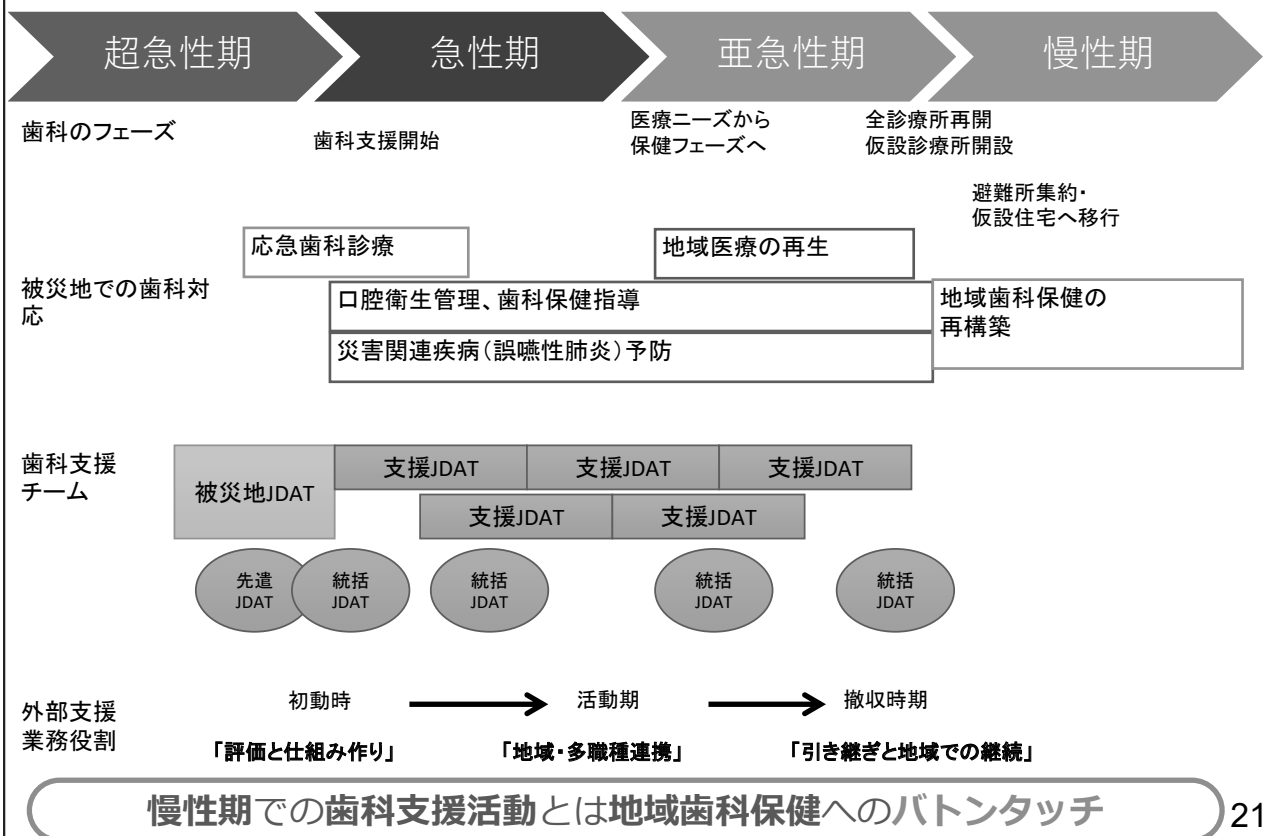
地域の歯科医療 提供体制の再構築

地域の歯科診療所の再開状況にあわせて、治療が必要な方を診療所に繋ぎます。

これらの支援を通じて、被災した地域が日常を取り戻すためのお手伝いをさせていただきます。歯や口に関することで、お困りのことやご希望がありましたら、遠慮なくご相談ください。歯みがき用品の提供を含め、全て無料です。

〈連絡先〉 **歯科医師会 ***-***-***

歯科対応・歯科支援チームと役割の推移



☑ 本日の内容

(1) これまでの主な災害対応

(2) JDATの活動内容

(3) 令和6年能登半島地震を受けての課題・展望

令和6年能登半島地震におけるJDATの主な課題

- ☞ 歯科診療車の整備
- ☞ 地域の規模に左右されない対応
- ☞ 都道府県における災害体制の整備
- ☞ 歯科の本部機能を担う人材の育成
- ☞ 研修の拡充
- ☞ 施設・避難所等でのアセスメント票や記録・報告書に係る共通認識の醸成
- ☞ JDAT各チームの情報連携・共有システム(プラットフォーム)の構築
- ☞ JDATの内外への周知
- ☞ 医療・福祉関係チームとの連携
- ☞ 行政機関との情報連携の醸成
- ☞ 市町村の保健医療福祉調整本部等との連携

23

今後の災害を見据えて～JDATの展望～

- ◎ 究極の目標は、被災された方々のすべてを災害関連死や災害関連疾病から守ること
- ◎ 健全な口腔の機能・環境を保つことで、生活に欠かせない「食べる・話す・笑う」ことができるよう支援していく
- ◎ 各地域においては、平常時から行政を含めた関係職種・チームと「顔の見える関係」を構築して、より円滑に被災地・被災者の支援が展開できるようにしていく
- ◎ 国民のみなさまには、被災した時、避難した時の口腔ケア等を今まで以上に啓発していく

24